

令和7年度 香川県技術士会 見学会報告書

1. 実施日：令和7年11月26日（水）

【参加者名簿】

2. 見学場所

- (1) 早明浦ダム再生事業 増設洪水吐工事(施工中)見学
- (2) 道の駅 土佐さめうら 桂月館
- (3) 本山の帰全山公園(野中兼山銅像)
- (4) アンパンマンミュージアム(やなせたかし記念館)
- (5) 「土木神の化身」野中兼山遺構探索(山田堰跡公園)

	氏名	性別	勤務先	
1	武山 正人	男		相談役
2	末澤 等	男		相談役
3	末澤 香	女		
4	加藤 均	男		会長
5	安西 慎	男	(公財)香川県建設技術センタ	副会長
6	安西 真喜江	女		
7	浅野 彰洋	男	浅野技術士事務所	
8	一宮 礼人	男	四電エンジニアリング(株)	
9	岩原 廣彦	男		
10	大川 義明	男	(株)ホリカワ工業	
11	大川 万里子	女		
12	大守 亮輔	男	鹿島建設(株)	
13	葛西 剛	男	青葉工業(株)	
14	加藤 賢次	男	日本工営(株)	
15	川邊 敏弘	男	株式会社GPMO	
16	川邊 久子	女		
17	庄野 達也	男	西松建設四国支店	
18	竹内 克宜	男	(株)マスタコンサルタント	
19	竹内 通子	女		
20	長尾 洋二	男	四国管制工業(株)	
21	細谷 芳照	男	(株)日建技術コンサルタント	
22	細谷 和子	女		
23	丸山 正	男	青葉工業(株)	
24	宮本 聖一	男	三菱電機(株)	
25	山地 孝樹	男	(株)四電技術コンサルタント	
26	吉田 智紀	男	(株)石垣	
27	尾崎 重浩	男	(株)四電技術コンサルタント	事務局
28	檜垣 和明	男	鹿島建設(株)	事務局

3. 行程・参加者 【行程スケジュール】

時刻	内容	備考
7:50	出発 JR高松駅 バス停14番乗り場	
	7:50- (バス移動) -10:10	バス 1h50min +休憩10分
10:00	見学 早明浦ダム / 水資源機構	見学 1h15min
	11:15- (バス移動) -11:30	バス 15min
11:30	昼食 さめうら荘レイクサイドホテル	昼食 40min
12:45	道の駅土佐さめうら、桂月館 帰全山公園 (野中兼山像)	散策 50min
	13:15- (バス移動) -14:30	バス 1h15min
14:30	見学 アンパンマンミュージアム	見学 1h
	15:30- (バス移動) -15:50	バス 20min
15:50	見学 山田堰記念公園	見学30min
	16:20- (バス移動) -18:20	バス 1h50min +休憩10分
18:20	到着 JR高松駅	

※大型バス (35人乗り) 1台

CPD 3.5時間

4. 概要

加藤会長を団長として、香川県技術士会による令和7年度見学会が、高知県土佐町の早明浦ダム、香美市アンパンマンミュージアム他にて実施されました。今回の見学会には総勢28名が参加し、天候にも恵まれ、充実した一日となりました。「早明浦ダム」再生事業、「野中兼山」とその遺構、朝ドラ『アンパン』のモデル「やなせたかし」記念館と盛りだくさんなメニューとなりました。

5. 見学会の報告

(1) 早明浦ダム再生事業 増設洪水吐工事

早明浦ダム再生事業では、洪水調節容量の増大や放流設備の増設を通じてダムの治水機能向上を図る取り組みを見学しました。独立行政法人水資源機構 早明浦ダム・高知分水管理所 浅井俊光所長から再生事業計画の説明、そして小谷口雅義室長からの工事詳細や技術的な工夫についての説明を受けました。参加者は現場の規模や技術の高さに感銘を受け、活発な質疑応答を通じて理解を深めることができました。

(2) さめうら荘、道の駅 土佐さめうら 土佐酒造 桂月館

ダム湖畔にあるさめうら荘で地元の食材“あか牛”を堪能し、道の駅土佐さめうらでは地元の特産品や文化に触れることができました。また、近傍にある明治10年創業土佐酒造の「桂月館」で、酒蔵とその歴史展示物の見学、試飲や貴重な経験となりました。



早明浦ダム再生事業の説明聴講



上) 下流側放流設備施工状況
左) 早明浦ダム堤頂での記念撮影



(3) 本山の帰全山公園

帰全山公園には、野中兼山の業績を称える銅像があります。道中車内で、野中兼山が奉行職として藩政を掌握し、藩の近世的基盤を確立した歴史をビデオ(四国電力作成)で学びました。また、彼の娘婉(えん)の生涯は映画『婉という女』(主演：岩下志麻)で描かれており、参加者はその歴史と悲哀の奥深さを感じることができました。

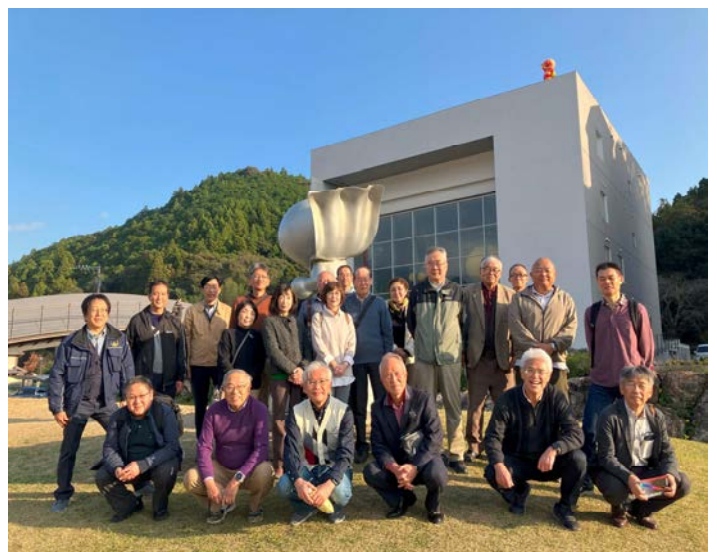


帰全山公園 野中兼山の銅像

(4) アンパンマンミュージアム(やなせたかし記念館)

アンパンマンミュージアムは、高知県香美市香北町にあり、アンパンマンの創作者やなせたかしのふるさととして知られています。見学会では、参加者がミュージアムを自由に探索し、アンパンマンと仲間たちの展示を楽しみました。

やなせたかし記念館では、朝ドラ『あんぱん』で注目された盟友・いずみたく氏と手掛けた仕事を紹介する特別展示会が開催中でした。漫画、絵本作家とは違ったやなせたかしを展示しており、とくに絶望の底でうみだした「てのひらに太陽を」をはじめとする人に勇気と元気とやさしさを与える“人間やなせたかし”の理解を深める貴重な機会となりました。



アンパンマンミュージアムでの記念撮影

(5) 「土木神の化身」野中兼山の遺構探索（山田堰跡公園）

野中兼山の遺構を探索し、江戸時代初期の土佐藩家老として地域開発を進めた彼の功績を学びました。新田開発や灌漑事業といった遺構を見学し、歴史的な背景や技術の進化を感じることができました。

山田堰の完成により穀倉香長平野が開かれ、殖産興業と民生向上に大きな役割を果たしました。山田堰を源とする『舟入川』は兼山が作った人工の川で、多くの新田と門部川周辺地域と高知城下との水運が始まりました。現在は2級河川舟入川となっています。



山田堰跡公園での記念撮影

【編集後記】

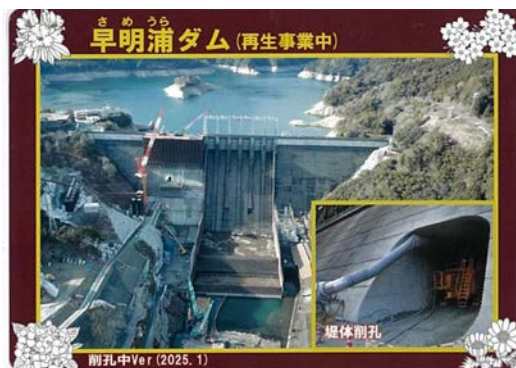
今回の見学会は、高知県での開催となり、新たな発見と学びの機会を提供する貴重なものとなりました。

特に野中兼山の遺構探索を通じて、地域の歴史と技術の進化に直接触れることができ、参加者は深い感銘を受けました。高知は廣井勇といふ偉大な土木技術者を生む何かがあるのではと感じてしまいました。ただ藩の為に、改革と開発を進めた家老野中兼山とその一族の運命は、悲哀に念を禁じえない物語ませんでした。

今回の見学会は、最新の土木技術の発展を知るとともに、土木構造物と地域社会とのつながりをより強く意識する機会となりました。今後もこのような見学会を通じて、技術士会の活動がますます充実していくことを願っております。できる限り、土木遺産・近代構造物・現場+酒蔵？を組み合わせたい見学会を計画したいと思います。ご希望・情報提供など、よろしくお願いいたします。



帰全山にある兼山像



今しかない“再生工事中”のレアカード